

下野市 教育委員会



1. 学校部活動の地域クラブ活動移行
2. 不登校に関する取組
3. 学校教育サポートセンターの移転について
4. 生涯学習の主な取組
5. スポーツの振興

《教育文化目標》
文化を育み 心豊かな人を育て 未来につなぐまちづくり

1. 学校部活動の地域クラブ活動移行

下野市では、学校が主体となって行っている休日の部活動を、令和6年度から令和8年度にかけて段階的に地域のクラブ活動に移行するよう準備を進めています。

地域クラブ活動移行に向けたスケジュール（予定）

令和6年度	令和7年度	令和8年度
9月以降、段階的に地域クラブ活動への移行を開始		休日の部活動を全て地域クラブ活動に移行
中学校1、2年生 義務教育学校7、8年生 上級生引退後の新体制での活動開始時から、準備が整った部活動※1から段階的に移行を開始します。	中学校全学年 義務教育学校7～9年生 順次、地域クラブ活動への移行を進めていきます。	中学校全学年 義務教育学校7～9年生 運動部活動、文化部活動ともに、休日における全ての部活動を地域クラブ活動に移行することを目指しています。

※1 移行するには、指導者の確保や休日の活動における保険等の整備が必要になります。

地域クラブへの移行が決定した学校部活動（R6.9末現在）

- ・南河内第二中学校 サッカー部
- ・石橋中学校 卓球部



※国分寺中学校、南河内小中学校においても、指導者の確保等、移行に向けた準備を進めています。



リモック
くらし
ウツテツク

下野市 部活動地域移行  市内中・義務教育学校の学校部活動の地域クラブ活動移行に関する情報を掲載しています。

こちらの二次元コードから
もご覧いただけます。



2. 不登校に関する取組

➤ 魅力ある学校づくり

- ・ いじめ防止に向けた取組
- ・ 小中一貫教育の充実（中学校区における取組）
- ・ 教職員を対象とした研修の実施

➤ 教育相談や不登校支援の充実

- ・ 学校教育サポートセンターによる教育相談
- ・ 教育支援センター「スマイル教室」による不登校児童生徒の学びの支援

➤ 福祉部局と連携した支援体制の確立

- ・ 児童生徒や保護者を支援する制度やサービスの提供
- ・ 学校内外の学びの場や相談機関の紹介

教職員対象の研修（不登校支援に向けた講話等）



不登校支援に向けたリーフレット

教室や家庭以外にも
多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。
まずは、**学校、または、下野市役所「福祉まなご相談窓口」**にご相談ください。
ご相談内容に応じて学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。

学校
お子さんの不登校が続くと学習や生活に不安がある場合は、まずは、学校の先生（担任の先生、教育相談担当の先生、保健室の先生等）にご相談ください。

「福祉まなご相談窓口」
学校への相談が難しい、学校以外の機関に相談したい場合は、まずは、下野市役所「福祉まなご相談窓口」(0285-32-7087)にご相談ください。必要の場合は関係機関と連携して支援を行います。

行政

- 学校教育サポートセンター**
学校教育に関する悩み全般の相談を行います。(市教育委員会管轄、利用料無料)
- 下野市教育委員会事務局学校教育課**
市立学校の対応やシステムについて指導・助言・管理をしている部署です。不登校に関する学校の対応について相談することができます。
- 教育支援センター「スマイル教室」**
一人一人に合わせた個別学習や相談等を行います。(市教育委員会管轄、無料、活動に必要な実費を除く)
- 下野市子ども家庭センター**
18歳以下の児童生徒に関する子育て全般について相談することができます。

民間

- 下野市不登校親の会「フリーバード」**
不登校経験の子を持つ保護者が、悩みを聞き合える場を設けています。民間所作りの会です。不登校の相談を行っています。
- 若者サポート「ハチドリの家」**
社会とうまくつなげられず、家にもつけない人やその家族を支援しています。不登校の相談を行っています。
- 下野市子ども若者・ひきこもり総合相談センター「ボラリス☆とちぎ」**
不登校等の様々な悩みや困難を抱えるお子さんやそのご家族からお話を聞き「これから」について一緒に考えます。

学校
学校内にも落ち着いて過ごせる場所や相談してくれる専門家がいます。
これらの教育の場や相談を希望する場合は、各学校や下野市教育委員会事務局学校教育課(0285-32-8918)にお問合せください。

校内教育支援センター
学校内の空き教室等を活用した居場所のことです。
お子さんのペースに合わせて相談に当たったり学習のサポートをしていきます。

スクールカウンセラー
児童生徒やその保護者の心のケアや、ストレスへの対応等を行う心理の専門家です。公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。

スクールソーシャルワーカー
児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続上の補助などをしてくれたりする福祉の専門家です。社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。

令和6年 下野市



リモツケ
くらし
ウツテツケ



2. 不登校に関する取組



シモツケ
くらし
ウツテツケ

シモツケ
子育て
ウツテツケ

東の飛鳥
Higashi no Asuka
下野市

学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ
不安や困りごと、ありませんか？

学校に行きたがらない

- 学校から帰ってくるといつも疲れている
- 学校に行こうとすると頭やお腹が痛くなる
- 家や自分の部屋から出たがらない

子どもへの接し方が分からない

- 子どもに学校に行くよう働きかけてよいか
- 学校に行かない理由を聞いてよいか
- 理由を聞いてもよく分からない／答えたがらない
- 家庭学習を続けるべきか
- 誰にも相談できない

心配な状態が続いている

- ゲームやSNSに没頭して昼夜逆転している
- 学習の進度が遅れ、学校の授業についていけない
- このままでは、将来、進学や就職できないのでは

一人で悩まないでください。

不登校は誰にでも起こり得ることです。
お子さんや保護者の方の周りには、行政・民間の様々な支援の輪が広がっています。このパンフレットでは、不登校等学校が苦手なお子さんの保護者の方の相談先などについてご紹介します。

令和6年 下野市

教室や家庭以外にも
多様な学びの場や支援の仕組みがあります。

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。
まずは、学校、または、下野市役所「福祉まるごと相談窓口」にご相談ください。
ご相談内容に応じて学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。

学 校

「福祉まるごと相談窓口」

紹介・接続

行政

民間

学 校

学校
お子さんの不登校が続くなど学習や生活に不安がある場合は、まずは、学校の先生(担任の先生、教育相談担当の先生、保健室の先生等)にご相談ください。

「福祉まるごと相談窓口」
学校への相談が難しい、学校以外の機関に相談したい場合は、下野市役所「福祉まるごと相談窓口」(0285-32-7087)にご相談ください。必要場合は関係機関と連携して支援を行います。

紹介・接続

行政

民間

学校教育サポートセンター
学校教育に関わる悩み全般の相談等を行います。(市教育委員会管轄、利用料無料)

教育支援センター「スマイル教室」
一人一人に合わせた個別学習や相談等を行います。(市教育委員会管轄、無料:活動に必要な実費を除く。)

下野市教育委員会事務局学校教育課
市立学校の対応やシステムについて指導・助言・管理をしている部署です。不登校に関する学校の対応について相談することができます。

下野市こども家庭センター
18歳以下の児童生徒に関する子育て全般について相談することができます。

下野市不登校親の会「フリーバード」
不登校経験の子を持つ保護者が、悩みを聞き共感できる場を設けています。居場所作りも企画中です。
<直接連絡する場合>
Mail:freebird20230207@gmail.com

若者サポート「ハチドリ」の会
社会とうまくつながらずに、家にもついている人やその家族を支援しています。不登校の相談も行っています。
<直接連絡する場合>
Tel:090-5757-5021

栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター
ボラリス☆とちぎ
不登校等の様々な悩みや困難を抱えるお子さんやそのご家族からお話を聞き「これから」について一緒に考えます。
<直接連絡する場合>Tel:028-643-3422

学 校
学校内にも落ち着いて過ごせる場所や相談に乗ってくれる専門家がいます。
これらの教室の利用や相談を希望する場合は、各学校や下野市教育委員会事務局学校教育課(0285-32-8918)にお問合せください。

校内教育支援センター
学校内の空き教室等を活用した居場所のことです。
お子さんのペースに合わせて相談に乗ってくれたり学習のサポートをしてくれたりします。
※学校の実情により設置状況が異なります。まずはご相談ください。

スクールカウンセラー
児童生徒やその保護者の心のケアや、ストレスへの対処等を行う心理の専門家です。
公認心理師や臨床心理士などの資格を持っている方が多いです。

スクールソーシャルワーカー
児童生徒やその保護者に福祉・医療的な支援が必要な場合に、福祉の窓口につないでくれたり、手続きの補助などをしてくれたりする福祉の専門家です。
社会福祉士や精神保健福祉士などの資格を持っている方が多いです。

4

3. 学校教育サポートセンターの移転について

➤ 来年5月に、新しい学校教育サポートセンターが運用開始します。

○移転場所

- ・下野市花の木二丁目659番地5（元すみれ作業所跡地）

○施設状況

- ・木造平屋建て、338.278㎡
- ・ゼロカーボンシティ推進に当たり、市公共施設初のZEB（※）認証取得（Nearly ZEB）

○機能の充実

- ・教育相談機能の充実
- ・不登校児童生徒への支援の充実

○今後の予定

- ・令和6年10月建設開始、令和7年3月完成、4月検査、5月中に移転完了予定

完成イメージ



※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物で、外皮の高断熱化及び効率的な省エネルギー設備を備え、基準一次エネルギーから50%以上の一次エネルギー消費削減に適合した建物。

4. 生涯学習の主な取組

～公民館講座～

※公民館 4 館 ・ 南河内公民館 ・ 南河内東公民館
・ 石橋公民館 ・ 国分寺公民館

➤年間 7 6 講座

講座の種類	講座数
家庭教育講座（親学、子育てリフレッシュなど）	1 2 講座
青少年教育講座（ちびっこ料理教室、理科実験など）	1 5 講座
セカンドステージ支援講座（メンズクッキングなど）	2 講座
まちづくり入門講座（ふくべを知ろう、SDG's など）	7 講座
成人講座（民話と歴史によるふるさと探訪など）	3 5 講座
高齢者講座（筋力アップ教室、シニア大学など）	5 講座



➤講座紹介

【青少年教育講座「親子で体験！2024」】 ・ 講師：下野市自然に親しむ会 ・ 会場：蔓巻公園 ・ 内容：夏の自然観察、秋の自然観察、星の観察	【まちづくり入門講座「ザ・ヒーローズ2」】 ・ 講師：消防団員、石橋消防署消防士ほか ・ 会場：大松山運動公園、石橋公民館 ・ 内容：放水体験、救急救命の方法、A E D の使い方、避難所作り、体験談等
--	--



リモツケ
くらし
ウツテツケ



4. 生涯学習の主な取組

～家庭教育支援事業～

子どもが基本的な生活習慣や豊かな情操・倫理観・自立心などを身につけるために、重要な役割を果たすのが『家庭教育』です。家庭教育力の向上を図り、子どもの健やかな成長を支援します。

➤下野市家庭教育学級

学校がPTA会員を対象として開催する家庭教育学級（講習会）に対し、支援を実施します。

➤公民館講座【家庭教育講座：小学校ってどんなところ？】

学校ごとに開催する講座では、就学前の幼児を持つ保護者を対象に、学校生活や学童保育についての情報を提供しています。

安心して入学を迎えられるよう、グループワークをととした保護者交流会も行っています。



～参加者の感想～

「子育ての疑問や不安をたくさん話せてスッキリした」
「みんなが同じような悩みを持っていて安心した」

5. スポーツの振興

①キンボールスポーツ普及促進の取組

- ★キンボールスポーツサンデーの定期 開催
11月24日(日) 南河内体育センター
1月19日(日) 国分寺B&G海洋センター
- ★リーダー及びC 級レフリー講習会の開催
- ★市民体育祭の自治会対抗種目として実施
- ★カンピくんカップ (市内小学校交流
キンボールスポーツ大会)の開催
(2月1日石橋体育センター)
- ★下野オープンキンボールスポーツ大会
- ★スポーツ推進委員による出前講座の実施



5. スポーツの振興

②運動場の環境の改善（運動場改修事業）

★別処山運動公園 A 球場ナイター照明 L E D 化工事
R 6 年 4 月から工事のため、利用休止となっていました
が、9 月に完了検査を行い、利用再開しました。

（写真 東側上空から撮影）

【参考】同 B 球場は、仮設工事開始に伴い、10月1日
から利用休止となりますが、R7年2月から利用
再開の予定です。

★大松山運動公園陸上競技場第 4 種公認更新工事
大松山運動公園陸上競技場について、グラウンド・
コートの補修及び必要な用器具の補充を行い、
R 5 年12月に第 4 種公認を更新しました。

（写真 北東側上空から撮影）



リモツケ

教育

ウツテツケ

ご清聴ありがとうございました